

令和 4 年度（2022 年度）

最終版

## 比企の川づくり協議会 第 21 回定時総会 資料

（事業期間：2021 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日）

	議 案	ページ
I.	令和 3 年度 概略事業報告……	1
II.	令和 3 年度 決算報告 ……	8
III.	令和 4 年度 事業計画 ……	10
IV.	令和 4 年度 予算計画 ……	11
V.	規約改定、役員人事 その他……	12
	1) 規約改定について	
	2) 役員人事について	
	3) 令和 4 年度（2022 年）の各事業の計画など	

令和 4 年 4 月 24 日（日）

（13：00～17：00）

東松山市民福祉センター 2 階 C 会議室

【住所：埼玉県東松山市松本町 1-7-8】

【位置図等：[東松山市社会福祉協議会 \(smile-shakyo.jp\)](http://smile-shakyo.jp)】

# I. 令和3年度（2021年度） 事業報告

## 1. 令和3年度の、概略事業報告

概略事業： 令和3年度は、前年から続く新型コロナウイルス感染拡大し、第6波のまん延防止等重点措置と緊急事態宣言が発出される中、集団行動を伴うイベントや見学会・会議等が多くの中止を余儀なくされました。政府は、18都道府県の重点措置解除の期限を3月21日に設定してみたものの、世界的にみても収まりそうもない状況になっています。

当協議会が毎年実施してきた「河川見学会」や「環境学習会」も、まん延防止等重点措置の長続きで、集団で現場見学・作業する多くの機会を失ってしまいましたので、年度内に何とか実施出来た10数件の概略事業を報告することで、定時総会への報告とさせて戴きます。

### (1) 恒例の、NPO荒川流域ネットワーク主催『稚アユ標識放流作業』へ協力・参加

5月1日（土）、午前9時に東松山市葛袋の関越自動車道・都幾川橋の下流に建設されたばかりの矢来堰魚道（プール階段式魚道）の下流にて、相模川で採集された稚アユ（8～10cm級）の標識作業と放流作業を行った。

前日30日に、運搬車で運ばれた稚アユ15kgは、矢来堰下流の適度な水量が多いところの「生け簀」に集められたが、比企川協と比企自然学校の10名の会員を加えて、総勢約20数名で標識作業（アブラ鰭削除）を行なった。

標識作業は、軽く麻酔に浸した稚アユのアブラ鰭（びれ）除去手術であり、例年の荒川秋が瀬堰採集魚（東京湾産）に較べて、相模湾産は約2倍の大きさも加わって、標識作業はスムーズに進みました。



都幾川矢来堰（新設：プール階段式魚道）を乗り越え上流へ、遡上してくれ！！（5月1日）

相模川から直送された、稚アユの生け簀（麻酔処理した後、都幾川へ放流し、個体数をカウントする）。

### (2) 令和3年度河川整備計画について東松山県土整備事務所・河川砂防部と「打合せ会」開く。

5月25日（火）、午後3時より東松山県土整備事務所河川砂防部（永井部長、本間課長・敷樋課長）の出席をお願いし、コロナ禍の影響で事務所2階の大会議室が使用できずに、一階の資料庫空間を用意して戴き、開催致しました。参加した協議会委員・会員は、市野川水系の会 in 滑川町（滑川町）、比企自然学校（東松山市）、NPO まちづくり楽会（東松山市）、水辺観察クラブ（小川町）、武蔵漁協（小川町）、福井工業（有）（吉見町）、いきがい松山29・いきがい大学東松山学園（志木市）に属する協議会会員の皆さん9名の方々でした。



東松山県土整備事務所 資料庫での打合せ

### (3) 比企地方の里山林、河畔林にもまん延する「ナラ枯れ」被害木の現地調査に参加！！

埼玉県では、令和元年新座市において県内で初めて「カシノナガキクイムシ」によるコナラ・クヌギ等への被害が確認され、2年後の令和3年には一気に拡大して、新座市、さいたま市、志木市、川口市、狭山市、川越市、所沢市、入間市、東松山市などでクイムシによるナラ枯れまん延が確認されております。



東松山市高坂地区のナラ枯れ調査隊



クイムシの食痕跡(フラス)調査

市野川の蛇行河川（滑川町羽尾）の河畔林でも、多くの被害木が確認され、県土整備事務所の許可を得て、除伐を続けてきましたが、特に東松山市高坂丘陵地区（里山）の松風台や旗立台の公園や緑地帯でも多くの被害木が確認された為に、比企自然学校の皆さんが独自に現地調査を実施したので協力参加しました。

### (4) まん延防止要請の対象外（群馬県内）のダム湖で、久々にカヌー・カヤックツアーに参加！

一昨年に新しくできたハツ場ダムの「あがつま湖」でカヌーが出来るとの参加要請が、比企自然学校の「川の学校」の方々からあり、天候も良い週末の5月28～29日の一泊二日の日程で、カヌー・カヤック5艇を持って待望の湖面ツアーに出かけてきました。

初日28日は、ダム建設後初めて見届けた壮大なダム堤体を見学し、地下3Fまでエレベーターで降りて、久しぶりに巨大な堤体を見学した。堤体の大きさや放水路（量）などは、流石に日本一を誇る「黒四ダム」ほどではなかったが、利根川水系の中での規模は二番目に大きなものでした。翌日29日に日帰り部隊と合流して、

3 艇のカヌー・2 艇のカヤックで湖面に漕ぎ出す前に、茨城から先発した T さんと二人で、右岸側の共同浴場「王湯」で英気を養うことにした。

吾妻渓谷一帯でも、コロナ禍の対策は行われており、男女それぞれの浴場には MAX10 名と限定入浴が徹底されており、人数制限で待たされそうになったが、小型テントと車中泊を決め込んだ 2 名は、同時入浴することが出来ました。



ハッ場ダム堤体見学(上 2 枚)と、 吾妻川水系四万川(下 2 枚)にて比企自然学校の皆さん

(5) 第 18 回「身近な水環境の全国一斉調査」に参加（市野川・都幾川）しました（8 回目）。

6 月 6 日（日）午前中に、NPO 荒川流域ネットワーク主催の「身近な水環境の全国一斉調査」に協力しながら、市野川・滑川水系で 6 地点、都幾川から 4 地点の採水を行い、午後から都幾川くらかけ清流の郷の四阿にて、水質分析を行いました。

参加者は協議会会員 4 名で実施しましたが、市野川・滑川は今年も COD で 5~7mg/L と汚れている状況を示し、都幾川では 2~4mg/L と雨後の検査であったため、清冽状況ではないが「ややきれいさ」を示しました。

特に、一昨年の台風 19 号で、堤防から溢水した都幾川鞍掛橋・稲荷橋周辺では、東松山県土整備事務所による流下能力向上の為の、河畔林伐採・土砂掘削が進んだために河畔風景が一変し、コロナ禍を避けながらの河畔ツーリスト達（川越市や志木市などから）が多く見られました。



市野川慈雲寺橋での採水と、都幾川くらかけ清流の郷での水質分析

(6)市野川蛇行河川の掘削工(社会資本整備総合交付金)竣工検査前の打ち合わせ記録と、復旧工事の現場写真など。

R2年の台風19号の豪雨によって、一級河川の蛇行河川(B地区)が土砂堆積で埋没されましたが、国の補助(社会資本整備総合交付金(河川)工事)によって、市野川掘削工と河畔林除伐が竣工されました。「協議会」と「市野川水系の会イン滑川町」では、復旧工事と蛇行河川の復旧を工事完了前に現場確認と打合せを行うために、6月9日に工事発注者の県土整備事務所河川砂防部(柿崎技師)、未来都建設(株)2名と市民団体側3名とで、現場確認と打合せを行いました。

蛇行河川の高橋(B地区中ノ島)に、5人が合流して、河川砂防部と未来都建設(株)の責任者による、「社会資本整備総合交付金(河川)工事(市野川掘削工その8)」の竣工検査前現地説明を行って頂きました。



羽尾地区B区間 新川の堰嵩上げと、蛇行部河川の土砂浚渫(流下能力回復)

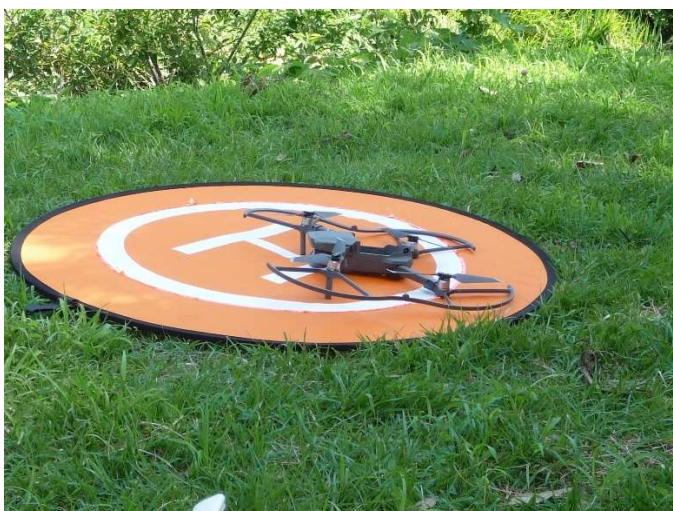
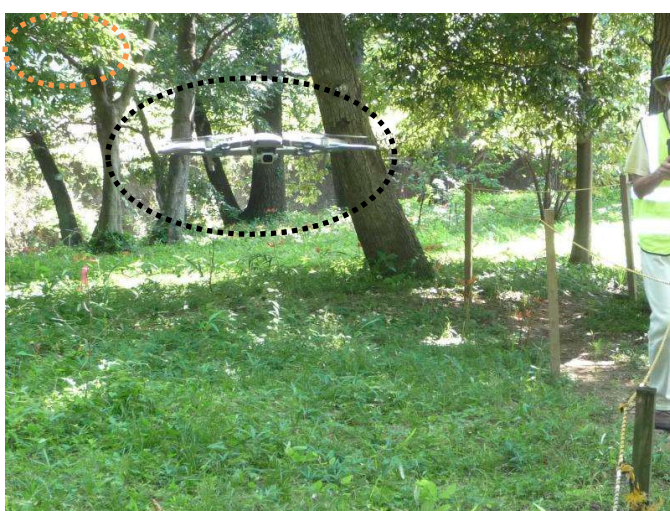
(7)市野川蛇行河川でキツネノカミソリ群落観賞会と、ドローン撮影によるモニタリング観測。

市野川では、蛇行部B地区中ノ島にはキツネノカミソリが開花を始め、地元町民・市野川水系の会イン滑川町による開花鑑賞会(1週間)も開催されている中、滑川町の皆さんからの情報提供や昼食の差し入れを受けて、3段階ドローン撮影(水面撮影・上空撮影・林間撮影(キツネノカミソリ群落))を行いました。

ドローンの機種は、遠距離撮影用にはFantom4を、林内・水面撮影用にはMavic2Proを用いて、約30分の蓄電時間の制約から、電池交換を繰り返しながら、効率よく映像を取得することが出来ました。



遠距離撮影用ドローン Fantom4



近距離(林内・水面撮影用)ドローン Mavic2Pro

#### (8) 鞍掛カヌー体験会（東松山市子どもエコクラブ）と埼玉県提唱の「プラごみゼロ」活動

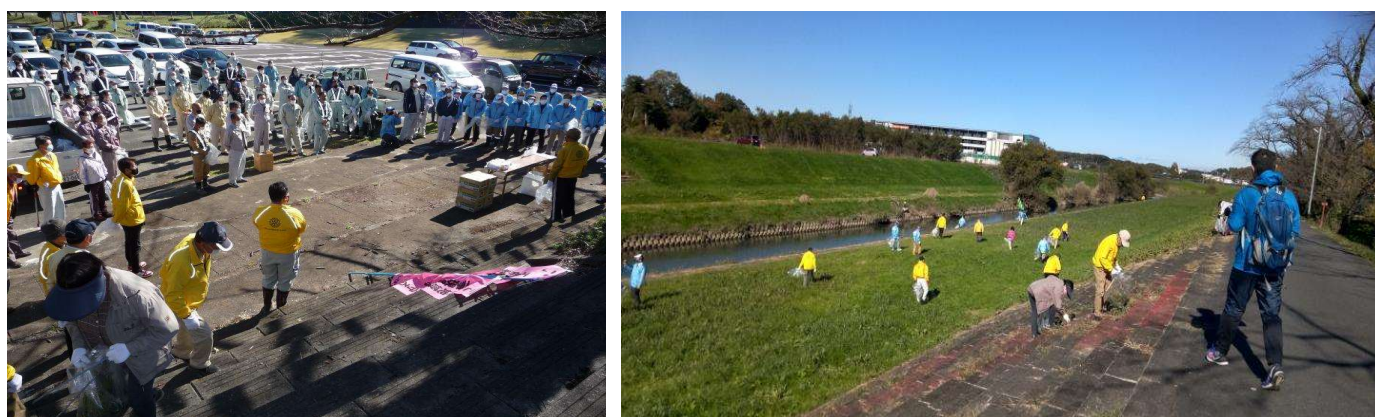
長い外出自粛規制のトンネルを抜けた10月のさわやかな季節、比企自然学校では今年初めての都幾川鞍掛堰上でのカヌーイベントを行なった（10月10日・日曜日）。協議会からも数名の支援者が参加し、埼玉県の「プラごみゼロウィーク」期間中なので、カヌーからプラごみを回収しようということも合わせて、少しは環境問題への貢献も・・・と「欲張りな企画」に加わった。ここ鞍掛BBQ場はやっとイベントが開始されたので、多くの来場者で賑わいました。子供達の、川でのカヌー上からのゴミ拾いに、感謝致します。



(9)新型コロナ禍で感染防止策のため、第18回市野川クリーンアップ作戦は、参加者を限定し開催！！

晩秋の快晴日となった11月13日(土)の午前中に、第18回目のクリーンアップ作戦が市野川・吉見百穴前両岸に於いて実施されました。一昨年までですと、概ね700人程の参加者があり、県・市の河川行政・環境行政からの協力支援などがあり、「豚汁」や「記念品」などの支給があったのですが、コロナ対策を行ないながら、一昨年度より規模を縮小し、約10分の1ほどの「参加者限定」で実施されました(今年度は約70人)。

東松山ロータリークラブ、むさしロータリークラブ、埼玉県建設業協会比企支部、比企の川づくり協議会の4団体のみで举行されましたが、当協議会は昨年同様に、比企自然学校との共同で「水上・河畔」のプラごみ回収に、カヌー1艇を使用しながらクリーンアップ活動を実施しました。



4団体約70名による「市野川クリーンアップ作戦」でのゴミ拾い



比企自然学校との共同作業(水上からのプラスチックごみの回収)

(10)市立新宿学校内の事前レクチャーと、バードウォッチングの環境学習(市野川にて12月)

東松山市立新宿小学校は、昭和年代に蛇行河川の整備と、水田・沼沢地を都市計画によって商業・宅地化した周辺に設立した小学校です。近隣には、環境管理事務所・県土整備事務所など埼玉県行政機関、市民文化会館などが隣接する行政区域ともなっています。R元年より、市教育委員会による「学校特色化支援事業」指定も加わったことで、児童達が野生生物とのふれあいを通じて、環境学習や保全を体験することを目的として、講堂での事前レクチャー(7日)と、市野川河川敷き・堤防でのバードウォッチング(9日)を行なった。

環境学習に協力して頂いた、金子さん、池田さんのお二人は、「NPO団体：東松山自然倶楽部」に所属する環境アドバイザーの有資格者(埼玉県認定)です。



小学校講堂での事前レクチャーと、市野川右岸堤防上から水鳥、冬鳥のバードウォッチング

(11) コロナ変異株オミクロンの急拡大の中「武州・入間川プロジェクト」の活動展示に参加。

「武州・入間川プロジェクト」は、武州ガス株式会社、国交省・荒川上流河川事務所、公益法人埼玉県生態系保護協会が主体となり、入間川流域で環境保全活動を行なっている市民団体等を支援するための助成事業（展示活動）です。川越市の国鉄・東武鉄道駅前の「まるひろ ATRE（デパート）」6階の展示場で、埼玉県西部の13活動団体のポスター発表があり、当協議会も毎年参加してきたので、今年もA0サイズのポスター作成を急遽お願いして、共同代表の山本正史さんに参加して頂きました。



コロナ変異株の急拡大のため、見学者は殆ど見かけられませんでした（1月24日～）。



## Ⅱ. 令和3年度（2021年度）決算報告書

### 【一般会計】

＜収入＞

（単位：円）

項目	決算額	備考
1.前年度繰越金	3,114	2,020年度 繰り越し
2.年会費	23,000	1,000円×5名（会員）、2,000円×9名（運営委員）
3.参加費	—	
4.雑収入・会員寄付	—	
収入合計(A)	26,114	【年度当初計画予算＝30,000円】

＜支出＞

項目	決算額	備考
1.事務費 (資料作成など)	16,264	コピー代700円、プリンターインク代3,564円 事務局経費4,000円×3名(共同代表)=12,000円
2.通信費（郵送費）	1,050	切手、レターパック代
3.傷害保険掛け金	0	河川見学会、学習会（無保険）など、全て開催中止
4.消耗品費	4,336	DVDディスク、ドローン空撮現地茶代
支出合計(B)	21,650	

＜差引残高＞

項目	決算額	備考
差引残金(A-B)	4,464	【年度当初計画予算＝5,000円】

差引残金(A-B)4,464円は、次年度に繰り越します。  
上記の通り、決算（案）を報告いたします。

2022年4月24日

会計 櫻井 行雄



櫻井運営委員からの一般会計報告に加え、助成金登録事業のプロジェクト執行及び助成金出納の責任者である山本正史氏より、以下の決算報告（特別会計Ⅰ）がありましたので、追加報告致します。

【特別会計Ⅰ】 一助成金事業決定額（未定）一

<収入>

項目	予算額	備考

<支出>

項目	決算額	備考

<差引残高>

項目	決算額	備考

2022年4月24日

会計 櫻井 行雄 印

### Ⅲ. 令和4年度（2022年度）事業計画（決定済みのみ）

#### 1. 当協議会主催の活動予定と、協働事業等

対象：（県土整備事務所、県農林振興センター、県環境管理事務所 等）

期日	活動・イベント名	活動場所
R4.5.13	県土整備事務所 河川砂防部 定例打合せ会	県土整備事務所 会議室など

#### 2. 「埼玉連」※との協働事業（川の再生地域交流会 年間計画は未定）

期日	活動・交流会名	活動場所
?	水環境課主催「川の再生交流会」は、中止	さいたま市民開館うらわ

#### 3. NPO 荒川流域ネットワークへの共催、協力

期日	活動・交流会名	活動場所
R4.6.30	第19回身近な水環境の全国一斉調査（水質環境）	市野川、都幾川の定点 10箇所

#### 4. 比企自然学校、もりんど等への協力・参加

期日	活動・交流会名	活動場所
R4.5.28	第2回くらかけカヌー体験（市観光協会主催）	くらかけ清流の郷（自然学校 協力）
R4.8.6	もりんど主催「川あそび」	ときがわ町花菖蒲園 都幾川にて
R4.8.25	あつまれ鞍掛っ子（市環境保全課主催）	くらかけ清流の郷（自然学校 協力）

#### 5. 市野川水系の会イン滑川町への協力・参加（代表活動を表示）（未定）

期日	活動・交流会名	活動場所
R4.5.14	市野川水系の会イン滑川町主催 定時総会	滑川町文化スポーツセンター


## IV. 令和4年度（2022年度）予算計画（未決定）

### 【一般会計】

#### <収入>

(単位:円)

項目	予算額	備考
1.前年度繰越金	4,464	
2.年会費 ※		
3.参加費		
4.雑収入		
収入合計(A)		

#### <支出>

項目	予算額	備考
1.事務費 (資料作成・他)		
2.通信費		
3.傷害保険代		
4.消耗品費		
5.雑支出		
支出合計(B)		

#### <差引残高>

項目	予算額	備考
差引残金(A-B)		

上記の通り、一般会計上の予算案を、報告いたします。

2022年4月24日 会計 櫻井行雄



## V. 規約改定及び役員人事 その他について（未決定）

### 1. 規約の改定について

当協議会も発足後 20 年を迎え、組織運営に関わった方々の高齢化・活動者の交代が続き、尚かつ持病も加わり、組織運営にも変化・支障が生じてきました。一方で、世代交代が進まないまま、令和元年からの新型コロナウイルス感染拡大も長引いて活動機会が失われ、規約にある「持続可能な開発目標（＝SDGs）」も一進一退の状態が続いております。

以上の理由から、組織や運営の規約も、4 度目の改定を致したく、以下に改定案を提案いたしますので、ご検討・ご承認をお願いする次第です。

#### 【比企の川づくり協議会 規約】

《改定の経緯：平成13年2月24日 承認 /平成14年2月23日 改定 /平成15年4月19日 改定》

##### 第1条（名 称）

本会の名称は、「比企の川づくり協議会」とする。

##### 第2条（目 的）

本会は、比企流域を対象として、流域の住民、河川管理者、流域市町村などとのパートナーシップを構築し、相互の活動状況や現地の実情の正しい理解を通じて、比企地域の自然と文化に根ざした、持続可能な開発目標（＝SDGs）に資する川づくりの実現に向けた活動をするを目的とする。

##### 第3条（活動エリア）

本会の主な活動エリアは、比企郡（滑川町、嵐山町、小川町、ときがわ町、川島町、吉見町、鳩山町）、秩父郡（東秩父村）、東松山市とする。

##### 第4条（組 織）

本会の組織は、共同代表、運営委員会、事務局等を置く。

##### 第5条（運 営）

本会の運営は、総会により決議・承認し、共同代表、運営委員会により行う。

##### 第6条（活動方針）

河川は、地域共有の公共財産であることから、本会の運営にあたっては、広く地域住民に関われた活動を行う。

##### 第7条（活動内容）

1. 比企流域の市民（団体）と河川管理者、流域市町村、関係者（事業者、利水関係者等）、学識者等とのパートナーシップの構築を図るため、関係者との連携の下「協議会」又は「流域懇談会等」を開催する。
2. 会計報告、事業報告、事業計画案の協議及び比企流域市民間の相互理解の増進と合意形成に向けた話し合いの場を開催する。
3. 河川管理者等との意見交換会を行なう。
4. 上記を運営するため、適宜、運営委員会を開催する。
5. その他、本会の目的を達成するために必要な活動を行う。

##### 第8条（会費）

会費は、会員の年会費 1,000 円、運営委員の年会費 2,000 円として、納入を以て会員とする。会員・委員には、見学会、懇談会、市民の集い等の開催案内を通知する。

なお、運営・活動年度は 4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までを 1 年度とする。 以上

## 2. 組織役員（運営委員・事務局）の改選について（暫定版）

令和4年4月24日 現在

### 比企の川づくり協議会 役員（運営委員）名簿（アイウエ順）

No	役職	氏名	住所	備考
1	運営委員	稲田 滋夫	東松山市松山町	市民の森保全クラブ 事務局 岩殿満喫クラブ 代表
2	//	笹沼 和利	ときがわ町大野	町会議員
3	共同代表 財務・会計	櫻井 行雄	東松山市松風台	比企自然学校 代表 丘陵ホテルを守る会 代表、ピオトープ管理士 (県認定) 環境アドバイザー
4	運営委員	白石 祐二	小川町青山	小川町水辺観察会、武蔵漁協監視員
5	//	澄川 清治	滑川町月輪	市野川水系の会イン滑川町 顧問
6	//	千葉 茂樹	東松山市旗立台	比企自然学校 顧問、前代表 技術士（水産部門） 一級土木施工管理技士
7	//	馬場 信一	小川町青山	里山クラブ、小川町水辺観察会 (県認定) 環境アドバイザー
8	//	福井 誠	吉見町東野	日本河川環境開発（株） 社長 (有) 福井工業 社長
9	//	青木 明雄	志木市	いきがい松山 29 代表
10	共同代表 渉外・企画	山本 正史	東松山市松葉町	埼玉連 代表理事、 NPO 法人まちづくり楽会 代表理事 (県認定) 環境アドバイザー
11	共同代表 総務・事業	渡辺 仁	東松山市五領町	比企自然学校 会員 技術士（応用理学部門 & 建設環境部門） (県認定) 環境アドバイザー

## 3. R4 年度（2022 年）の各事業等は、全て（未決定で暫定的）

- 1) 県土整備事務所との定例打合せ会議（5月GW明けに、実施予定）
- 2) 第21回 河川見学会
- 3) 市民環境プロジェクトの「あつまれ！くらかけっこ！」支援など

以上